

## 酒田北高松林整備ボランティア

5月31日(火)山形県立酒田北高校の生徒たちが実施する松林整備ボランティア活動に、「出羽庄内公益の森づくり事業」の一環であり、当センターも参加しました。

この活動は、平成18年度から毎年行っている酒田北高全校生徒が参加する伝統の活動で、今年度で6回目になります。今回の活動場所は、酒田市宮海の国有林1127林班に小班のクロマツ造林地です。活動内容は、クロマツ造林木の鋸による枝落としと伐り落とした枝の集積作業です。

当日は快晴の天気恵まれ、日本海から吹く海風が心地よいボランティア活動日和の天気となりました。

まず、松林の整備に先立ち、酒田北高の担当教諭より「先人が残した美しいクロマツ林を守る活動を通し、地元の歴史を知るとともに、次世代に引き継ぐことの意義を感じ取って欲しい。整備に当たってはケガをしないように注意すること。」と挨拶がありました。

今回の参加者は、酒田北高全校生徒157名をはじめ、北高の先生方20名、山形県庄内総合支庁森林整備課5名、庄内森林管理署3名、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター4名、酒田市役所1名、北庄内森林組合1名、万里の松原に親しむ会10名、NPO庄内海岸のクロマツをたたく会1名の総勢202名と多いことから、4班に分かれて松林整備ボランティア活動を実施しました。

朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター職員は、4班(約40名)の北高生の作業指導・安全確保を行いました。中には鋸での作業に不慣れな方も見受けられましたが、班員全員の頑張り、予定よりも早く作業が終了しました。

見違えるほどきれいになったクロマツ林を見た女子学生は、「疲れたけど、地域の遺産を未来につなぐ貢献が出来た。」と感想を述べてくれました。

酒田北高は、来年度には、酒田商業、酒田工業、酒田中央の3校とともに統合されて「酒田光稜高校」が開校する予定になっています。酒田北高としての松林整備は、今回で終了することになりますが、来年度は、新しい酒田光稜高校が、この松林整備活動に参加してくれることに期待を込めて酒田北高校の松林整備ボランティアは終了しました。



朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター